

長崎県・市教育方針・長崎市立滑石中学校教育方針					
（１）長崎県教育方針 長崎県の教育は、国際交流の歴史が息づく郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成をめざす。学校・家庭及び地域住民は、「教育県長崎」の確立のため、自らの役割と責任を認識し、互いに手を携え、県民挙げて子どもたちを健やかに育むとともに、生涯にわたって学び続けることのできる社会の実現を図る。とくに、教育に携わる者は、子どもたちに深い愛情を注ぎながら、その使命を自覚し、識見と指導力を高め、本県教育の充実と発展に努めなければならない。 （２）長崎市教育方針 長崎市の教育は、学校・家庭・地域が一体となって、長崎のまちを愛し未来を担う子どもたちの育成をめざすとともに、だれもが生涯を通じていきいきと学び、楽しみ続けられる社会の実現に努める。とくに、本市がめざす将来の都市像「個性輝く世界都市」、「希望あふれる人間都市」の実現に向け、長崎市独自の歴史・文化を活かし、平和を求め、多様性を認め合う、国際性豊かな市民の育成に努める。 ＝第４次長崎市教育振興基本計画（令和４年度～令和７年度）＝ ・基本施策Ｇ１【学校教育】「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」 ・2025年度にめざす姿 「子どもが、長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている。」 ・めざす姿を達成するための個別施策 G1-1「確かな学力」の向上を図ります G1-2 健やかな心と体を育成します G1-3 家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります G1-4 安全・安心に学べる教育環境を整備します					
令和7年度 教育長説示					
はじめに ・子どもたちの学びの保障や心身の健康 ・教職員の資質・能力向上 ・ベクトルを揃え、同歩調の取組 ・様々な教育課題の解決や新たな教育活動の構築 ・長崎市第五次総合計画と第2期長崎市教育大綱の最終年度（４年目） ・教育委員会の組織改変 方針 “誰ひとり取り残さない”（キーワード） 自立：多様な学びの場の充実を図り、子どもの学力を保障したかめること 学力向上対策の推進（校内研修・学力調査を活用した学びの進化・GIGAスクール構想の推進） 共生：『長崎ならではの特色ある教育』を通して子どもたちの社会性を育むこと よりよい生活に向けた取組（基本的な生活習慣の定着・いじめ問題等への対応・制服変更・多様な学びの場の充実・包括的性教育の実施） 人材育成に向けた取組（キャリア教育の充実・平和教育の充実・国際理解教育の充実・コミュニティ・スクールの推進） 改革：教育の質を高める教育環境の構築 働き方改革の推進（勤務時間の適正化・チームとしての学校の実現・部活動地域移行の推進・業務負担軽減に向けた取組・校務の効率化） 教授環境の整備（施設改修・適正規模化、適正配置計画の推進・給食センターの準備）					
各 課 等 重 点 取 組					
学務課 （教職員係）	学校教育課 （生徒指導係）	学校教育課 （教育指導係）	学校教育課 （保健体育係）	学校給食課	教 育 研 究 所
・年間超過540時間 （職員０％） ・人事評価（業務改善・働き方改革） ・不祥事根絶 （服務規律委員会）	・いじめ防止・対応 ・校則見直し ・キャリア教育 （長崎愛・国際感覚・平和創造） ・平和教育 （被爆80年） ・人権教育 （教育・人権週間）	・校内研修 （あじさいスタンダード） ・国際理解教育	・体力向上 （体力維持向上） ・健康教育 （外部講師性教育） ・安全教育 ＝地域クラブ活動推進室＝ ・休日部活 ・部活指導員の活用	・安全管理 （アレルギー対応） ・北部給食センター ＝給食センター整備室＝ ・中部・南部準備	＝教育支援係＝ ・通常学級の特支教育・教師資質向上 ・学びの場の決定 ＝情報教育推進係＝ ・GIGA(生徒・教師の活用力向上) ・校務DX推進(テトル・出退勤) ＝学びの多様化推進室＝ ・メタバース教育・専門スタッフ ・学びの多様化学校

（３）本校の教育方針 日本国憲法・教育基本法並びに長崎県及び長崎市の教育方針に則り、職員の和と秩序をもって経営の中心となし、常に教育者としての使命感に徹し、教職員としての識見と指導力を高めるとともに、家庭・地域社会との連携を密にし、知・徳・体の調和のとれた、たくましく人間性豊かな生徒の育成を目指し、活力ある学校の創造と望ましい校風の樹立を図る。	
校訓 「北の誇り」～品格ある感じのよい人間の育成～	
<分析> 北：昭和４４年創立の伝統校である。 （多くの卒業生を配し、英知や経験、実績や功績を有し、大きな期待を寄せている学校） 誇り：自信・自慢・自己肯定感を持つ。 （粘り強く取り組み、成功体験を積み重ね、自主性を育む学校） ○品格：社会性・高い志を持った言動 ○感じがよい：自ら学ぼうとする姿勢 ○人間：生徒ではなく生涯教育に立った人間教育	
学校教育目標 自ら進んで学び、社会性と高い志をもった生徒の育成	
《目指す学校像》 ・元気で温かみのある学校 ・学力の向上をめざす学校 ・秩序があり安全で美しい学校	
《目指す生徒像》 ・夢に向かって学び合い高め合う生徒 ・感謝の気持ちを素直に表し支え合い認め合う生徒 ・地域や社会に貢献し奉仕する心を持つ生徒	《目指す職員像》 ・生徒への愛情溢れる職員 ・自らを高める職員 ・心身共に健康で人間性豊かな職員
【令和７年度 最重要改善事項】 ●チーム担任制：①リーダーを育成すると共に、生徒の主体性を高める。 ②きめ細やかな面談・相談を実施することで、生徒の個に応じた支援を確実に行う。 教育相談充実：時間を十分確保する。（７月下旬・１１月上旬・個に応じた面談） 相談（面談）形式に工夫し、生徒自身の実態を理解し、適切に支援する。 事例検証を通じて、指導（支援）技術を向上させる。 評価充実：生徒のやる気を喚起する評価となるように工夫する。（教科・教科外・日常生活等） 評価材料を計画的に集め、生徒の実態を正確に表した評価を行う。 生徒一人ひとりに正確に評価し、生徒が主体的に学習改善につなげる。 ●部活動地域移行：①生徒の主体的な活動を促進し、心身ともに健全な生徒を育てる。 ②継続可能な組織づくりに努める。 中学校部活動：保護者・地域と連携し、現在の活動の適正化を図る。 地域移行：部活動振興会とともに、継続可能な組織づくりを検討する。	
【具体的な取組】 ●心豊かで、強い志をもつ生徒の育成 ・命の教育 ・いじめ根絶不登校生徒減少 ・自治能力 ・挨拶の徹底 ・生徒会活動の充実 ・特別支援教育の充実 ●粘り強く学び、確かな学力を身につけた生徒の育成 ・学習の習慣化 ・学習規律（滑石中スタンダード） ・AIドリル活用 ・英検・漢検等の活用 ・ギャリアパスポートの活用 ●たくましい心と体をもつ生徒の育成 ・健康安全教育（食育） ・道徳教育 ・部活動 ・情操教育（読書・清掃・掲示物） ●地域を愛し、地域に貢献できる生徒の育成 ・地域行事との連携協力	【具体的な取組】 ●不祥事根絶 ・体罰 ・飲酒運転 ・交通事故 ・情報漏洩 ・ハラスメント行為 ・公金取扱い ●働き方改革 ・意識改革 ・システム改革 ●授業改善、指導改善 ・タブレット活用 ・研究授業 ・事例検証＝適切な指導 ●開かれた学校 ・情報発信 ・地域人材活用 ・評議員会等の活用